

プラン策定のための意見聴取について

こども等からの意見聴取（案）①子ども・若者

【意見聴取の考え方】

こども基本法の基本理念として「全てのこどもについて、（中略）自己に直接関係する全ての事項に関して意見を表明する機会（中略）が確保されること」が掲げられていることを踏まえ、様々な機会をとらえ、施策対象の子ども・若者から幅広く意見を聴取する。

聴取機会	聴取対象	聴取方式	聴取時期
高校生の生活状況アンケート （ヤングケアラーに係る実態調査）	高校２年生 （回答数6,559人）	アンケート	R5.9～10 【済】
子どもの生活実態調査	小学５年生 （回答数：5,364人） 中学２年生 （回答数：5,298人）	アンケート	R5.12～R6.1 【済】
いわて希望塾	中学生 （対象：100人程度）	・アンケート ・グループディスカッション 等の直接対話	R6.9～11
青少年の健全育成に関する意識調査	中高校生 （調査対象：500人） 20～30代若者 （調査対象：1,500人）	アンケート	R6.9～11
こども向けパブリックコメント	子ども・若者	メール、FAX、郵送	R6.12～R7.1

※ 上表の取組以外においても、随時、子ども・若者からの意見聴取の実施を検討する。

こども等からの意見聴取（案）②施策関係者

【意見聴取の考え方】

現時点で課題として認識されている事項や、プランの指標実績や各種アンケート調査結果等を踏まえて聴取テーマを決定し、**施策関係者（主に子ども・若者支援に従事する方等を想定）**から意見を伺う。

意見聴取分野（プラン区分）	聴取テーマ例	聴取テーマ例の考え方
I 出会い・結婚・妊娠・出産 ～誕生前から幼児期～ （1 若者支援、2 妊産婦 等）	・不妊治療 ・産後ケア	<ul style="list-style-type: none"> ●不妊治療と仕事との両立に指標実績が低い ●県内市町村が実施する産後ケアの充実が課題
II 子育て支援 ～学童期～ （1 子育て支援、2 相談・情報提供体制等）	・悩み相談 ・遊び場整備	<ul style="list-style-type: none"> ●学校生活に係る指標実績が低い ●悩みごと相談の状況に変化（子ども生活実態アンケート） ●屋内の遊び場整備が課題 （こども大綱_重要事項：多様な遊びや体験、活躍できる機会づくり）
III 子どもの健やかな成長と自立 ～青年期～ （1 子どもの権利、2 教育、3 保健等）	・若者活躍 ・若者のライフプラン形成	<ul style="list-style-type: none"> ●若者が地域社会で活躍できる環境づくりが課題 ●有配偶率の低下が本県出生率低下の最大要因 ●プレコンセプションケアの推進（こども大綱_重要事項：こどもや若者への切れ目のない保健・医療の提供）
IV 援助を必要とする子どもや家庭 （1 虐待、2 障がい、3 ひとり親、4 貧困等）	・子どもの居場所 ・多様な困難を抱える こどもへの支援のあり方	<ul style="list-style-type: none"> ●自由になる時間や場所、話し相手や相談相手に対するニーズ有（ヤングケアラー実態調査） ●こどもが複合的な困難を抱えるケースに対応するため、関係公所の連携が必要
V 社会環境 （1 地域社会、2 環境づくり）	・子育てしやすい まちづくり ・ワークライフバランス	<ul style="list-style-type: none"> ●企業の子育て支援に係る指標実績が低い ・いわて子育て応援の店協賛店舗数 ・年次有給休暇の取得率
VI 震災からの復興	・被災した子どもや 家族への心のケア	<ul style="list-style-type: none"> ●震災によりストレスを抱える子ども・若者への継続的支援が必要